



学校教育目標

自 ら 学 ぶ 子



「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

3月号 令和6年3月1日

「無限の可能性」

校長 藁科 直希

2月22日に6年生の「卒業を祝う会」を行いました。6年生一人ひとりから、小学校生活での成長や思い出、お世話になった家族や大切な友達への感謝、将来の夢や希望などが自分の言葉で語られました。子どもたちの成長を目の当たりにして、改めて子どもたちの成長に関わることでできる教員という仕事のやりがいを感じることができました。子どもたちが立派に成長することができたのも保護者の皆様の深い愛情や支え、地域の皆様の温かい見守りがあったからであると感謝の気持ちでいっぱいです。いつも本当にありがとうございます。

1年生の植えたチューリップの芽が出始め、すくすくと成長しています。休みの前のある日、1年生の男の子と「いつ芽が出るかな?」、「月曜日には芽が出るといいね。」と話をしていたら、次の週の月曜日には芽が出始めていました。「チューリップも土の中でがんばっていたんだね。」と前出の男の子。芽は突然地上に顔を出したのではなく、地上に出てくるまでに、土の中で目に見えない成長をしていたのです。冷たい雪が降った日も、寒さにじっと耐えていたのです。人と植物は違いますが、目に見える成長と見えない成長があり、子どもたちの心も体も日々確実に成長しているのです。私も二人の子どもの親として、ついつい目に見える成長に注目しがちですが、目に見えない内面の成長を大切にしなければといつも反省しています。

小学生時代は、様々な学習や体験をしているいろいろな種をまいている時期になります。子どもたちの中で様々な種が芽を出し、成長するための準備をしているのです。雪の日に「まだ、チューリップの芽が出てないけど、雪で大丈夫かな?」と心配していた女の子。今では植えた球根全てが芽を出し、ぐんぐん成長しています。同じ時期に植えた球根でも早く芽が出て背丈が伸びているものもあれば、芽が出始めたばかりのものもあります。植物と同じで人間の成長にも個人差があります。待つことも大切です。豊かな体験や学習とともに、たくさんの温かい言葉や愛情という栄養をたっぷり与え、子どもたちの可能性を広げていけたら素晴らしいことです。

子どもたちには、学習でも、スポーツでも、芸術でも、どんな世界でもいいので、自分が夢中になれるものを見つけてほしいと願っています。好きなものを見つけることでそれぞれの人生がより豊かなものになっていくと思います。

浦島小の教職員一同、保護者や地域の皆様とともに子どもたちに豊かな体験や学習を提供し、たっぷりの愛情を注ぎ、これからの時代を生きていく子どもたちの可能性や世界を少しでも広げていくことができれば幸いです。これからチューリップがどんな花を咲かせるのか、とても楽しみです。そして、この1年で子どもたちにどのような種をまき、栄養を与えることができたのか、今後の子どもたち一人ひとりの成長を楽しみにしています。

さまざまなくにのことばにあわせて、スマートフォンのアプリなどでよみとりやすいように、こんげつから ふりがなをなくしています。ごりかいをおねがいます。